

大学間連携共同教育推進事業
 ふくしまの未来を拓く「強い人材」づくり共同教育プログラム
 ②逆境を逆手にとった「強い人材」の育成
 b) 災害ボランティア活動を通じた学生の教育

平成 28 年度 シラバス

| | | | | | |
|---|--------------|---|--------------------|--|------|
| 1 | 名 称 | ふくしまキッズ博をフィールドにした親子支援事業における学習 | | | |
| 2 | 計 画 者 | 所属 | 桜の聖母短期大学 生活科学科 | 職名 | 教授 |
| | | 氏名 | 池田 洋子 | | |
| 3 | 協力する教員 | 所属 | 福島学院大学 福祉学部 | 職名 | 教授 |
| | | 氏名 | 藤原 正子 | | |
| 4 | 対象となる学生 | 学 年 | 制限なし | | |
| | | 専攻分野等 | 制限なし | | |
| 5 | 目的とねらい | 福島県の子どもたちを元気にするためのプロジェクト「ふくしまキッズ博」において、福島市内の大学・短大が企画・運営の段階から連携し、子どもたちの遊び場を提供する。プロジェクトを成功させるための鍵のひとつがお互いの信頼関係の構築である。学生自らが企画・運営を行うにあたり、課題を探求し、解決するためにチームで働く力が求められる。そのため講師を招き、コーチングのワークショップを実施する。また、キッズ博では SNS を利用した情報発信も課題として設定されているために情報発信力も高まることが期待されている。 | | | |
| 6 | 具体的な計画 | 実施時期 | 内 容 | | |
| | | 4月下旬～ | 学生事務局会議 月に1回 | | |
| | | 7月下旬 | ふくしまキッズ博(あづま総合体育館) | | |
| | | 秋頃 | 合同成果報告会 | | |
| | | | | | |
| 7 | 内容と期待される学修成果 | | 内 容 | 期待される学修成果 | Step |
| | | 基本的な姿勢 | 共同体の一員、成人としての責任 | 他の学生たちと協力し、プロジェクトにおける倫理、約束を遵守することができる。 | 4 |
| | | 課題探究力 | 課題の探求 | プロジェクトにおいて、実際に行った活動の中で感じた疑問を呈することができる | 2 |
| | | 課題解決力 | 新たな価値をもたらすアイデアの発案 | プロジェクトの中で、自らの発想・着想を表明することができる。 | 3 |
| | | 情報受信力 情報発信力 | 情報の収集と編集 | プロジェクトにおいて、会得した情報を整理しまとめることができる。 | 3 |
| | | つなぐ力 導く力 | 集団における課題・目標の設定 | プロジェクトにおいて他者から設定した課題や成果目標を理解している。 | 3 |
| | 目指す学修成果 | | | | |
| 8 | 関連する科目 | 福祉学(ボランティアワーク) | | | |